

施設利用者感染防止策チェックリスト

以下の事項に該当する場合は、自主的に利用を見合わせる

- 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛・だるさ(倦怠感)・息苦しさ・嗅覚や味覚の異常などの症状がある場合)
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- 過去 14 日以内に政府から入国制限や入国後の観察期間を必要とされている(国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合)
- 2日以内に発熱があった場合

マスクを持参すること(受付時や着替え時等のスポーツを行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)

こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること

利用中に大きな声で会話、応援等をしないこと

感染防止のために施設管理者が決めたその他の措置や指示に従うこと

利用終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、施設管理者に対して速やかに報告すること

施設利用前後のミーティングや懇親会等においても、三つの密を避けること

運動・スポーツの種類に関わらず、運動・スポーツをしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離(できるだけ2m以上)を空けること(介助者や誘導者の必要な場合や乳幼児等の安全を確保する場合を除く)

強度が高い運動・スポーツの場合は、呼気が激しくなるため、より一層距離を空けること

運動・スポーツ中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと

タオルの共用はしないこと

飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること

ゴミの持ち帰りを周知すること

利用終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、施設管理者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

※上記について確認しました。

令和 年 月 日

団体名 _____

利用者署名 _____

住 所 _____

連絡先 _____